

# “見える”化の 実践の“見える”化 (remastered)

日本Rubyの会 ||  
(株)永和システムマネジメント

**角谷 信太郎**

s-kakutani@esm.co.jp

オブジェクト倶楽部  
2006秋イベント  
ライトニングトークス  
2006-11-17(金)

**“オブジェクト指向なので  
スライドを再利用します”**

**——SASADA Koichi**

# “Giving Lightning Talks”

<http://www.perl.com/pub/a/2004/07/30/lightningtalk.html>

<http://www.rubyist.net/~matz/20040802.html#p02>

“Giving Lightning Talks”の教え#1

**重要な点を最初に**

**Make your Point**

重要な点

御札

ご清聴

ありがとうございます

ございました

# Acknowledgements

t-wadaさん、 芦沢さん、  
平鍋さん、 天野さん、  
懸田さん、 本間さん、  
牧野さん、 桑折さん、  
猪狩さん

“Giving Lightning Talks”の教え#2

**詳細は重要ではない**

**Most Details Don't Matter**

# 本日の献立

- バーンダウンチャートの紹介  
シーズン2
- XFDsの導入

# 伝えたいこと

- アジャイル進捗追跡マニフェスト
- 「**Struts**の声沢じゃないよ。  
**XFD**の声沢だよ」

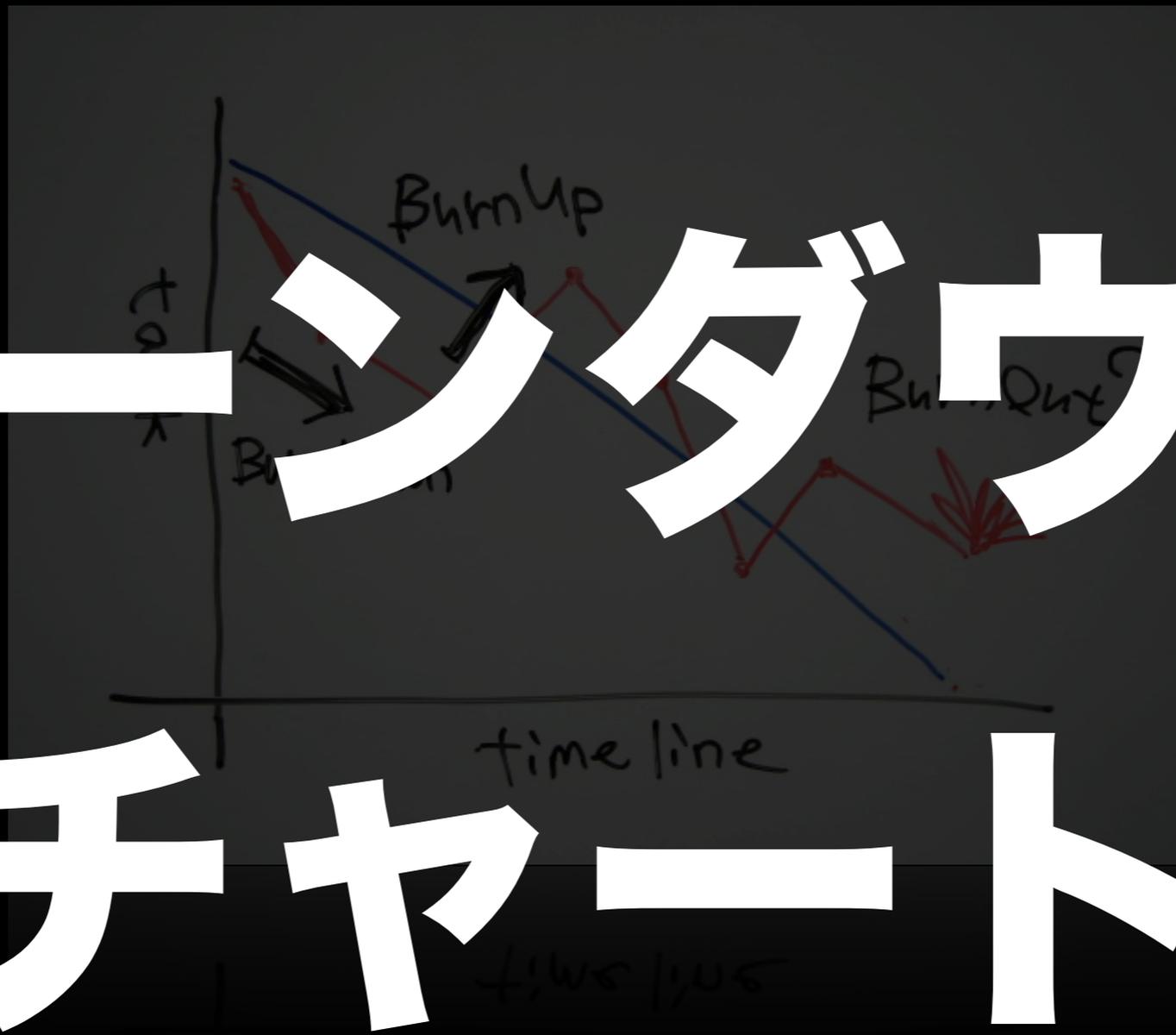
# バーンダウンチャートの紹介

シーズン2

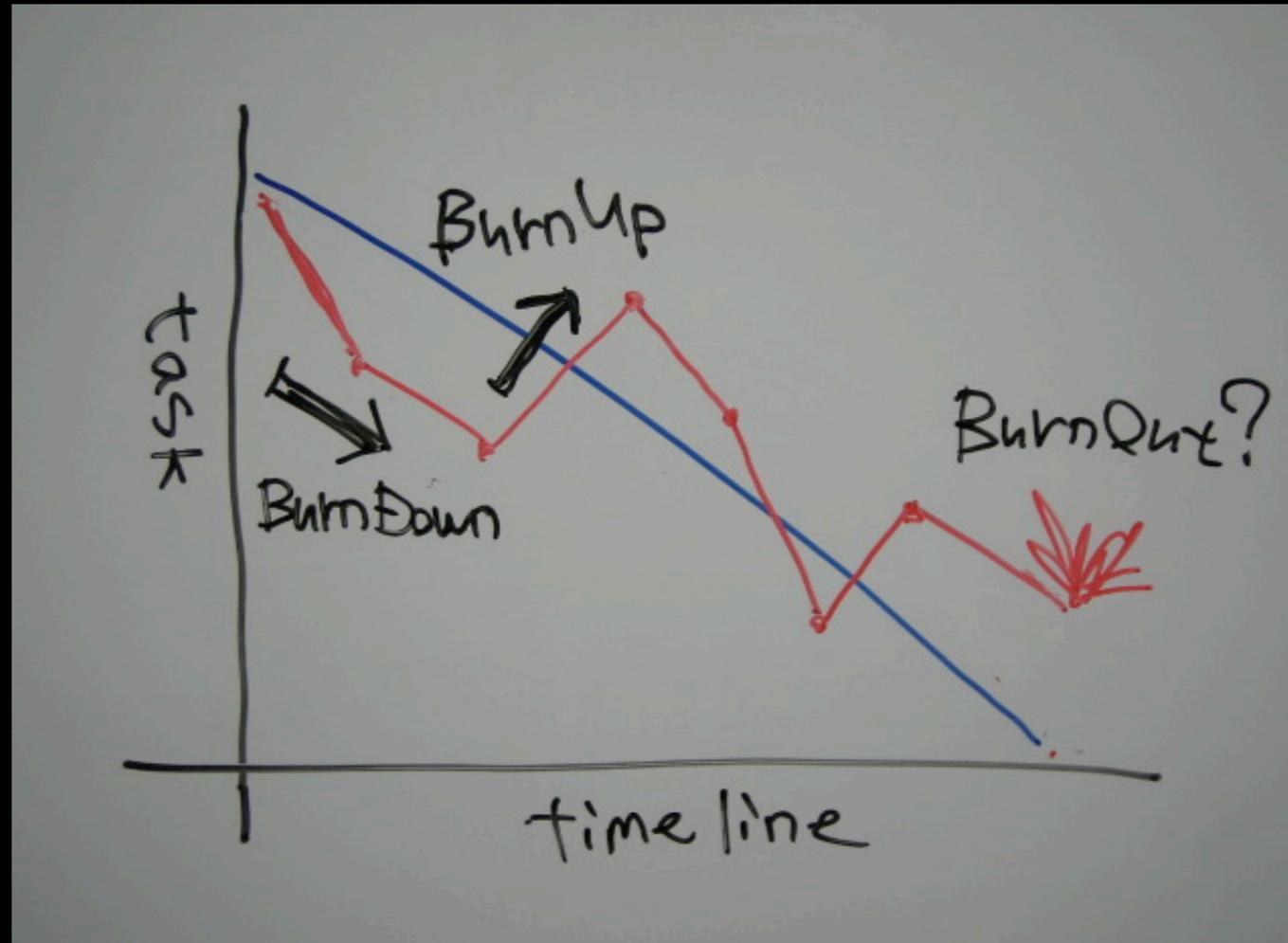
**The Burndowns:eXperienced**



# バーンダウン チャート



# Terminology



- **横軸:** 時間
- **縦軸:** タスク残量
- **プロット:** 特定タイミングでの残タスク量

特定期日に  
完了できそう  
かを追跡

A hand-drawn diagram on a dark background. It features a vertical axis labeled 'task' and a horizontal axis labeled 'time line'. A blue line starts at the origin and trends upwards to the right. A red line starts at the origin and trends downwards to the right, crossing the blue line. There are several arrows: a black arrow pointing up and right, a black arrow pointing down and left, and a red arrow pointing down and left. The word 'Burn' is written in blue above the blue line, and 'Burn Out?' is written in red above the red line.

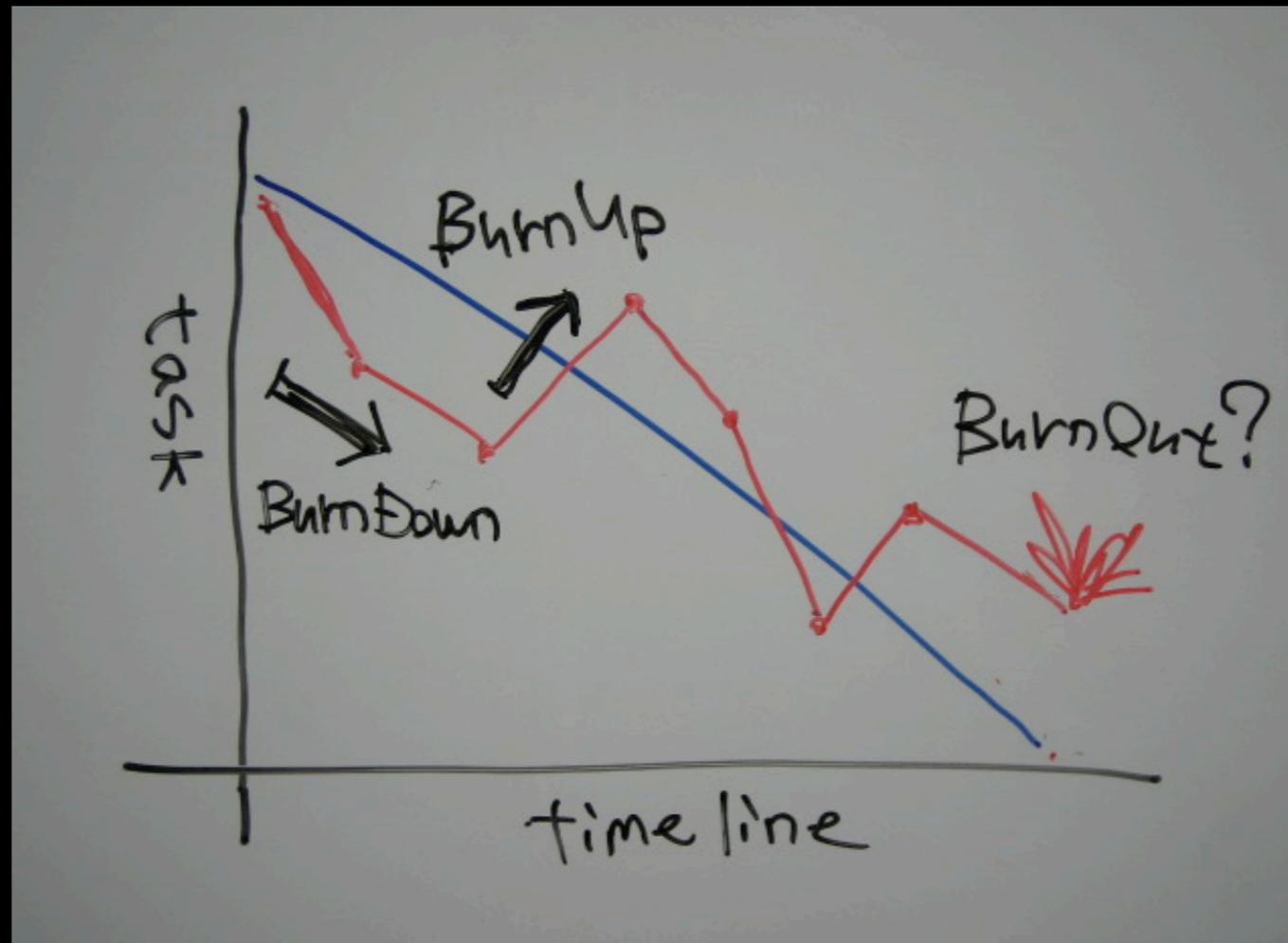
あらゆる

プロジェクトは

火事場である

という前提

# Terminology (Cont'd)



- **BurnDown**: タスクの消化(消火?!)
- **BurnUp**: タスクの増加(延焼?)
- **BurnOut**: タイムボックス内で鎮火に至らず

# Terminology (Cont'd)

## チャートの種類:

- **Daily BurnDown**

- 横軸が日付。イテレーション単位

- **Iteration BurnDown**

- 横軸がイテレーション。  
プロジェクト(マイルストーン)単位



8時間 × 5日

# PREVIOUSLY ON BURNDOWN CHARTS

——前回までのバーンダウン・チャート

# ライトニングトークス@XP祭り2004

- 2004/07/26

- <http://www.xpjug.org/event/20040726maturi/regist>

- <http://www.xpjug.org/event/20040726maturi/report>

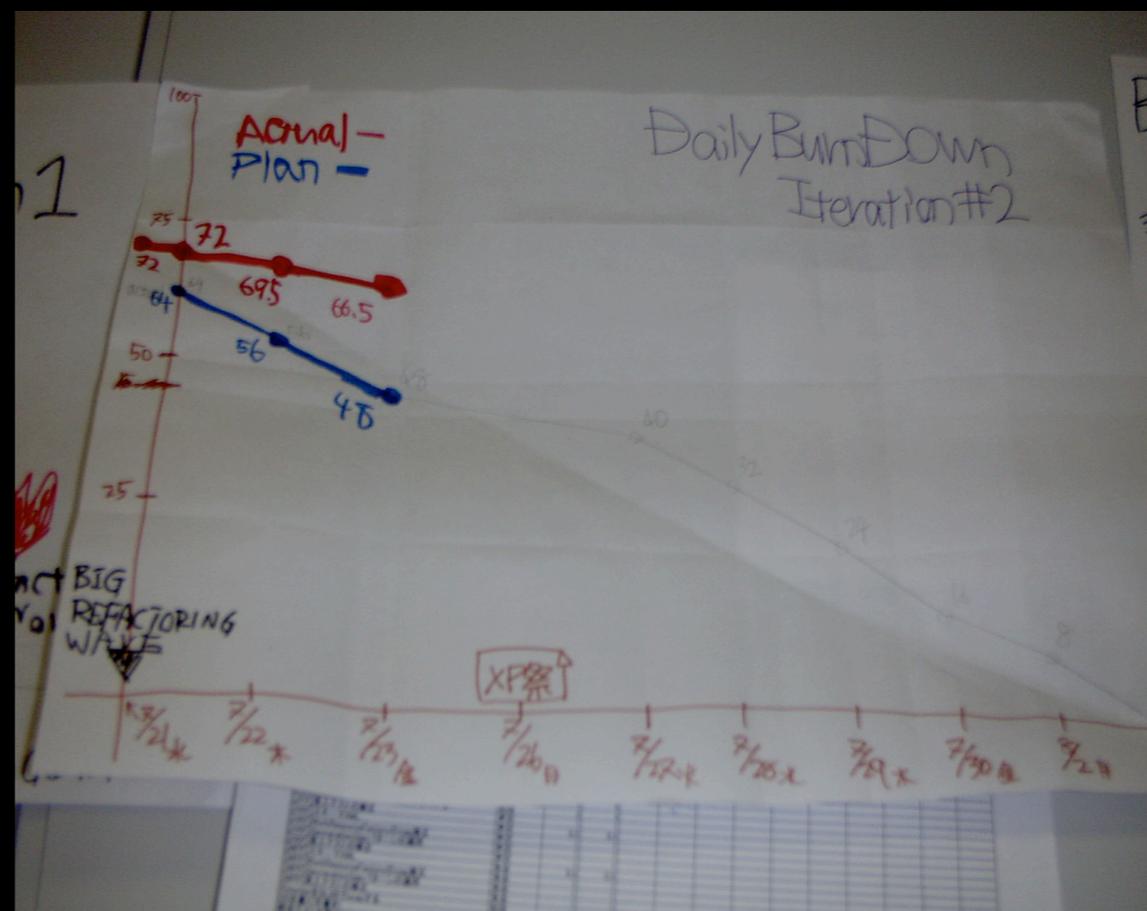
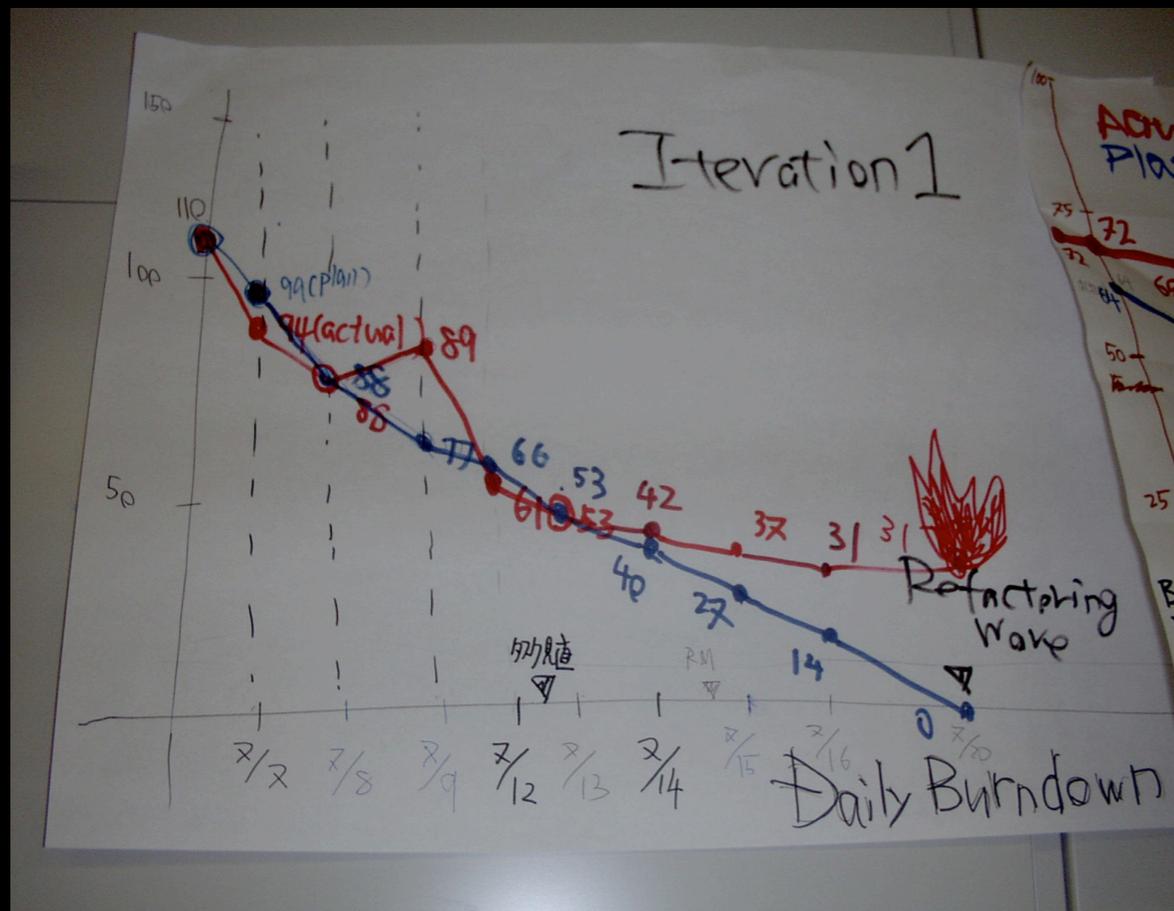
- 実践しはじめのバーンダウン・チャートを紹介

- <http://www.kakutani.com/articles/XPmatsuri2004-LT.kakutani.pdf>



# イテレーション#1

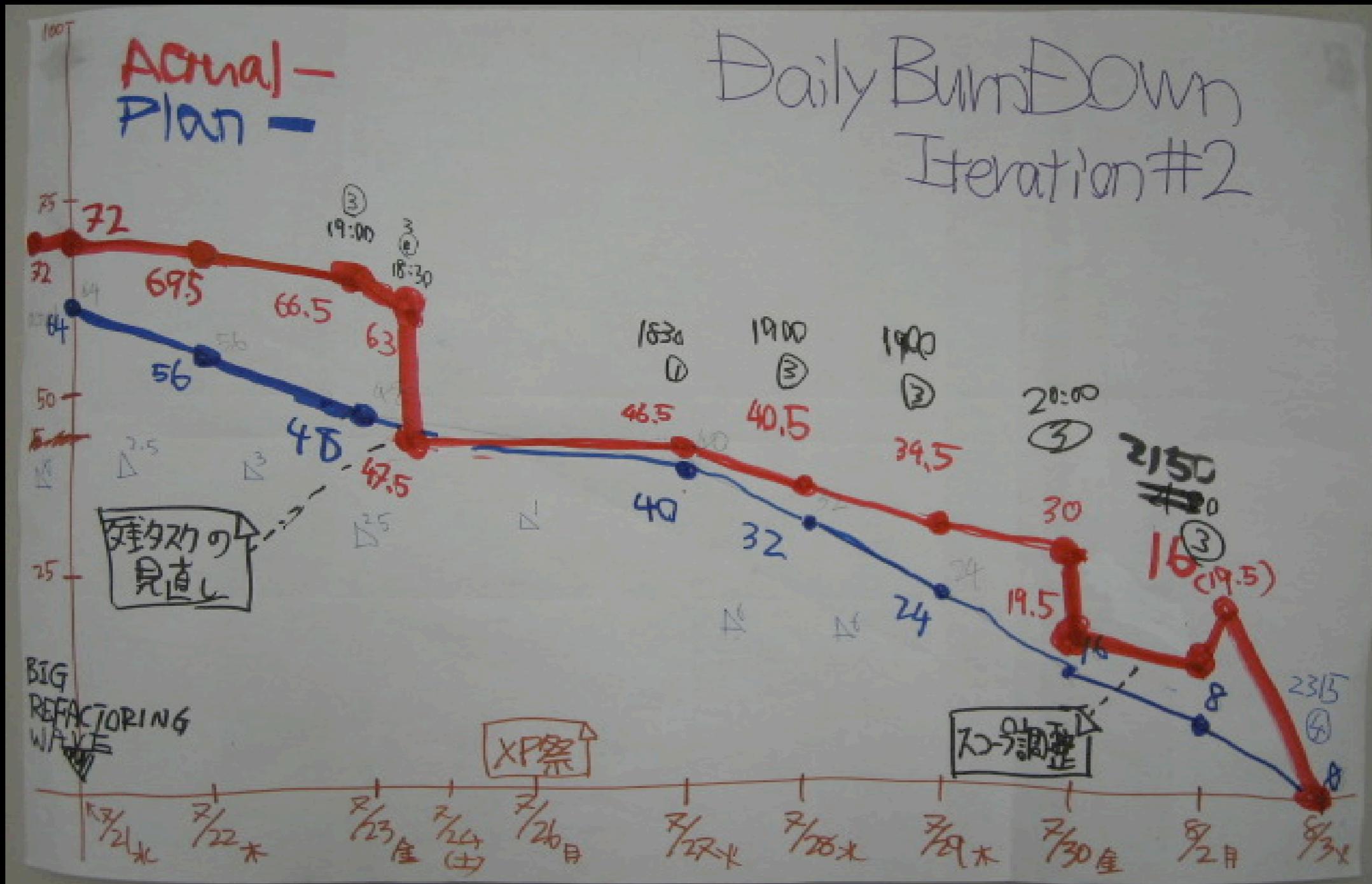
# イテレーション#2 (開始後2日経過)



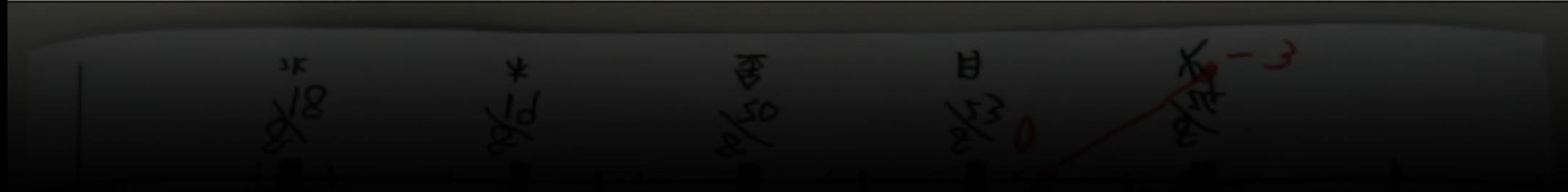
**THE FOLLOWING TAKE PLACE  
BETWEEN 7/27 AND 12/3.**

これは、7月27日から12月3日までの間に  
起こった出来事である。

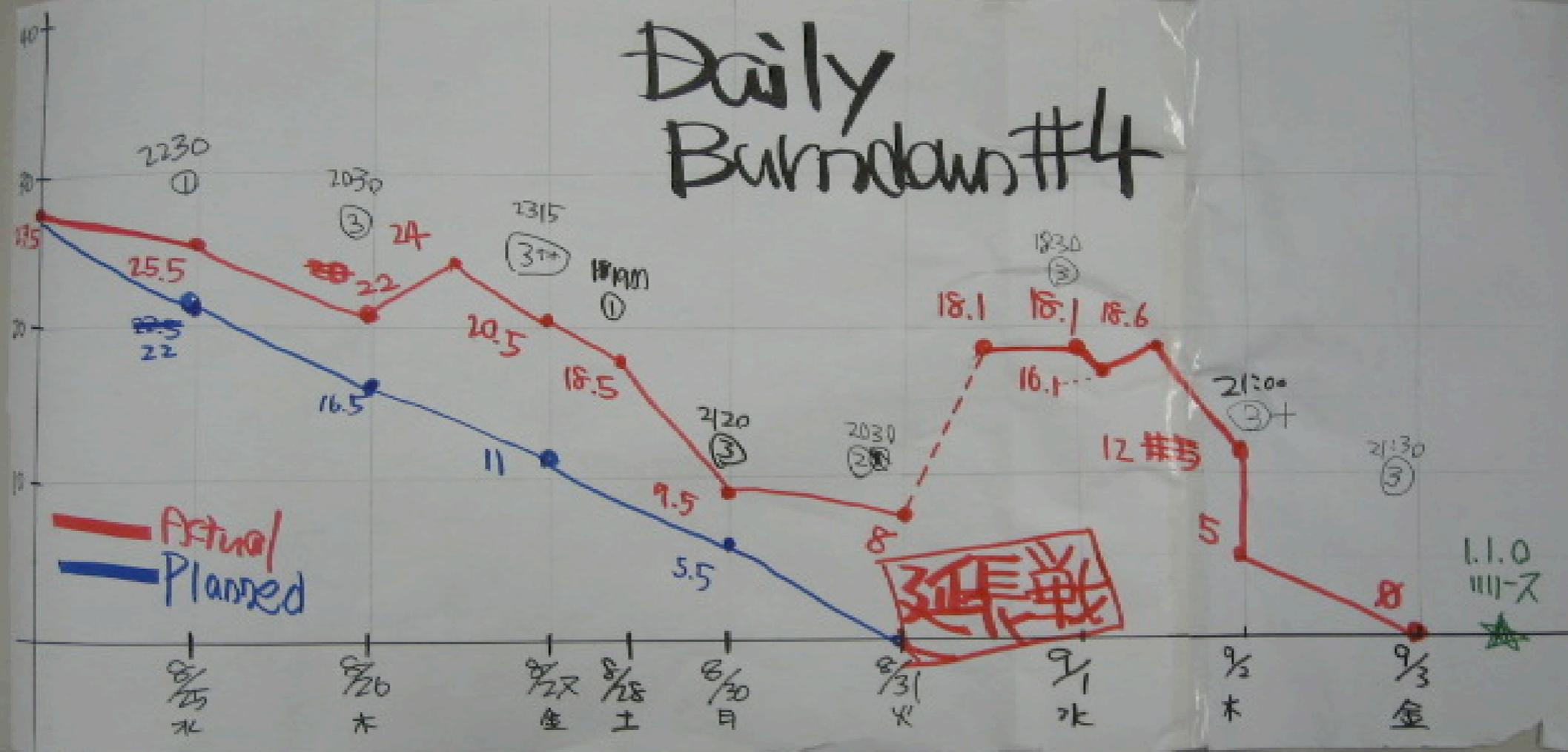
# イテレーション#2(完了)



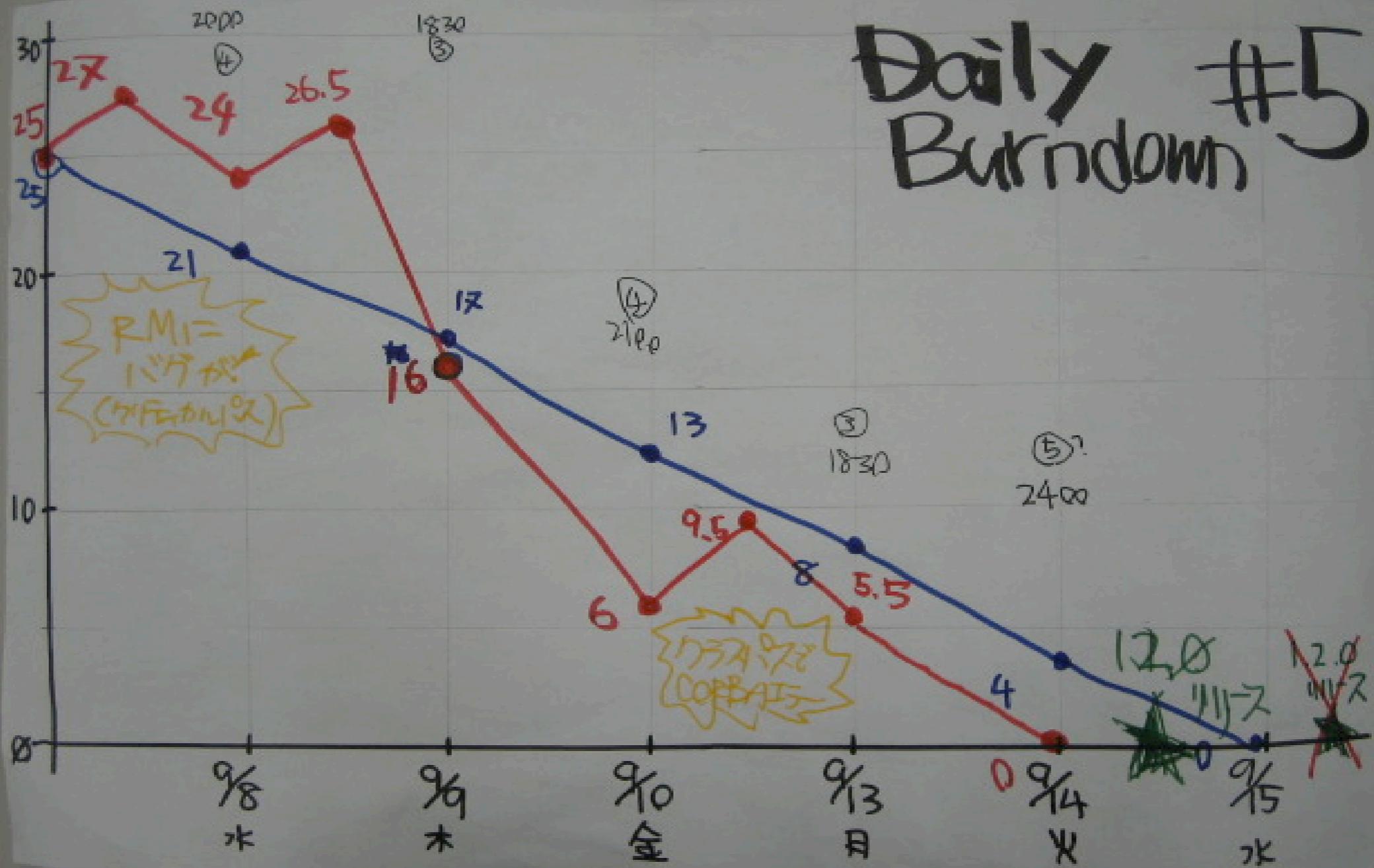
# イテレーション#3



# イテレーション#4

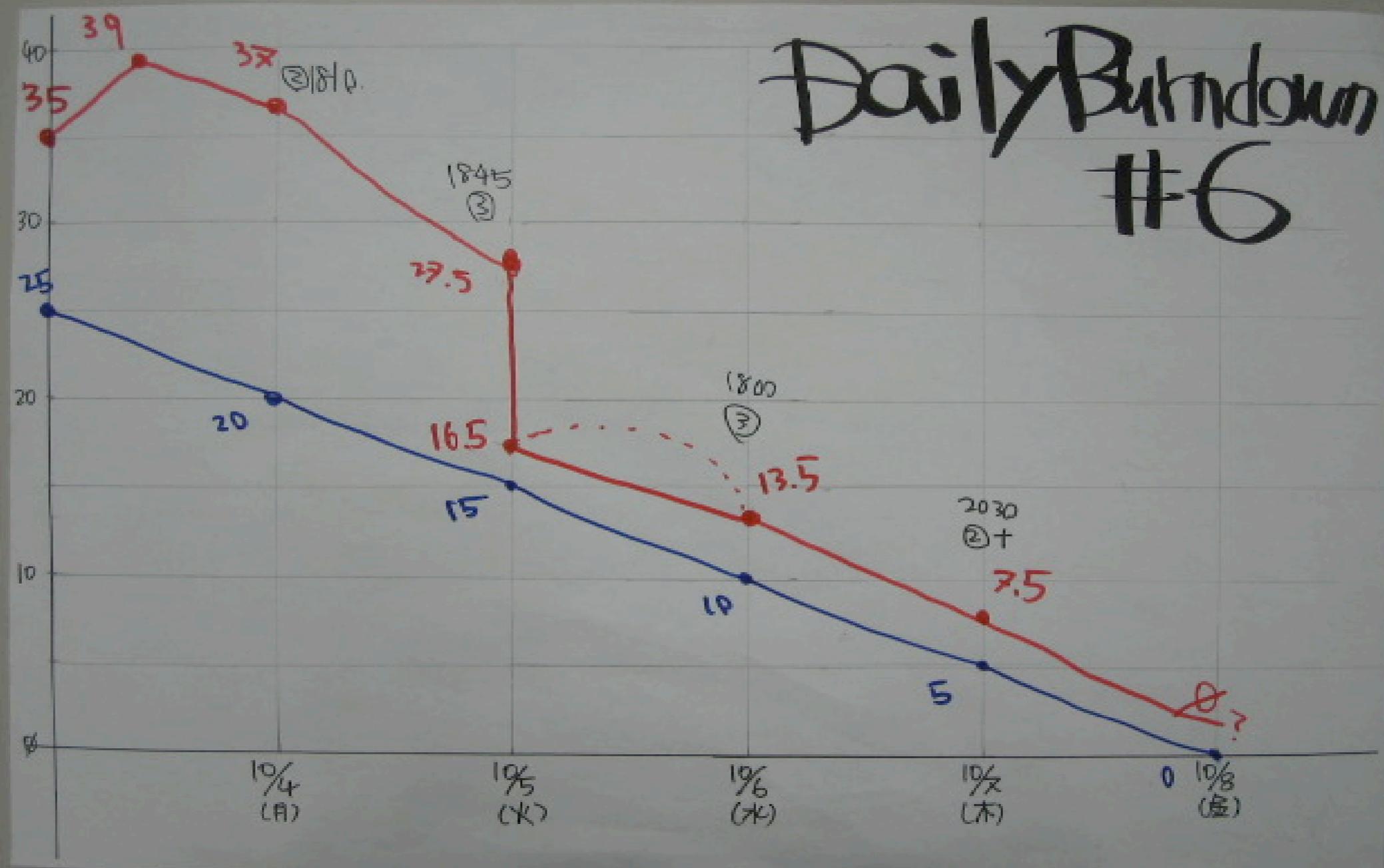


# イテレーション#5

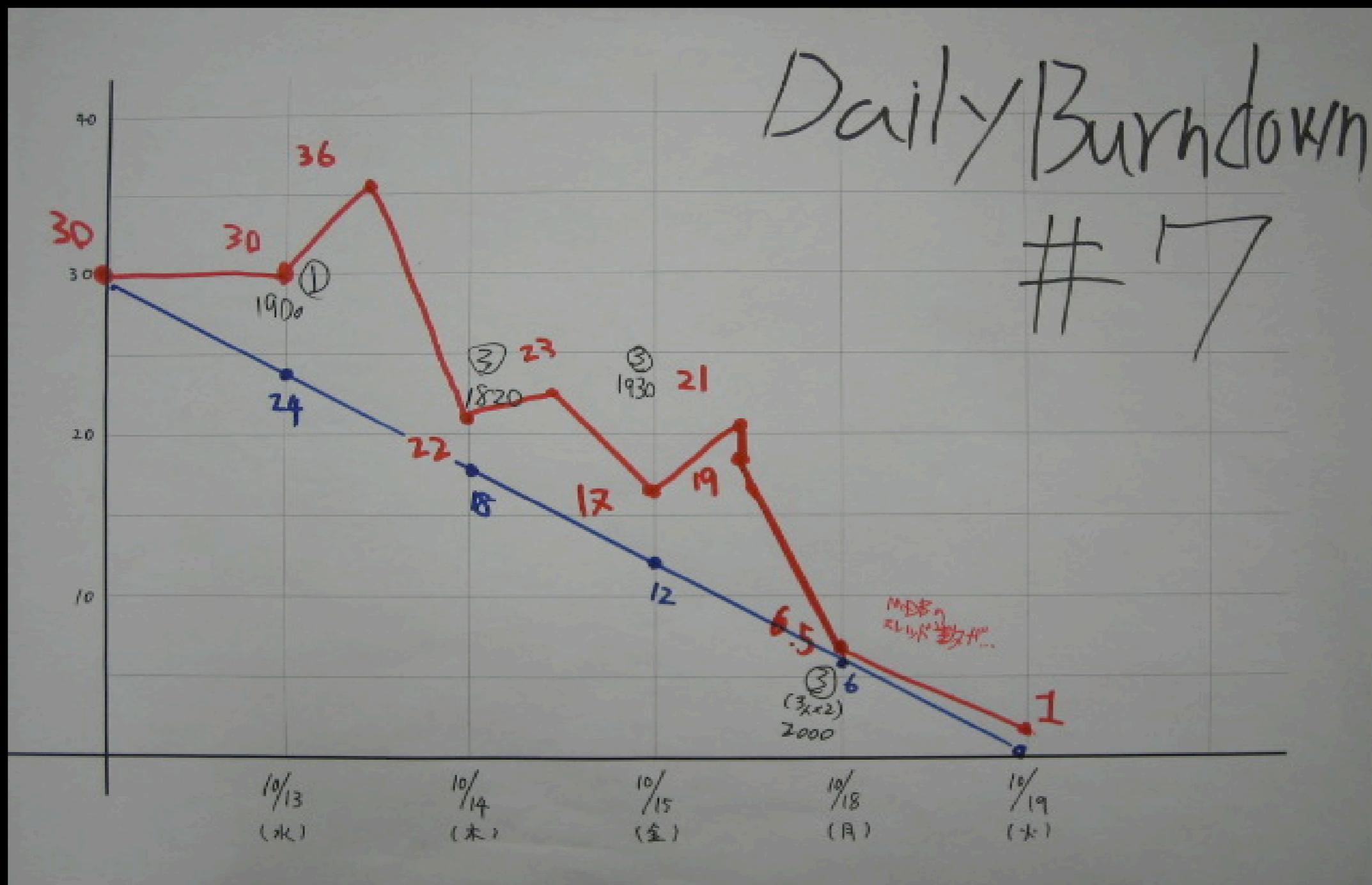


1/8 1/9 1/10 1/11 1/12 1/13 1/14 1/15

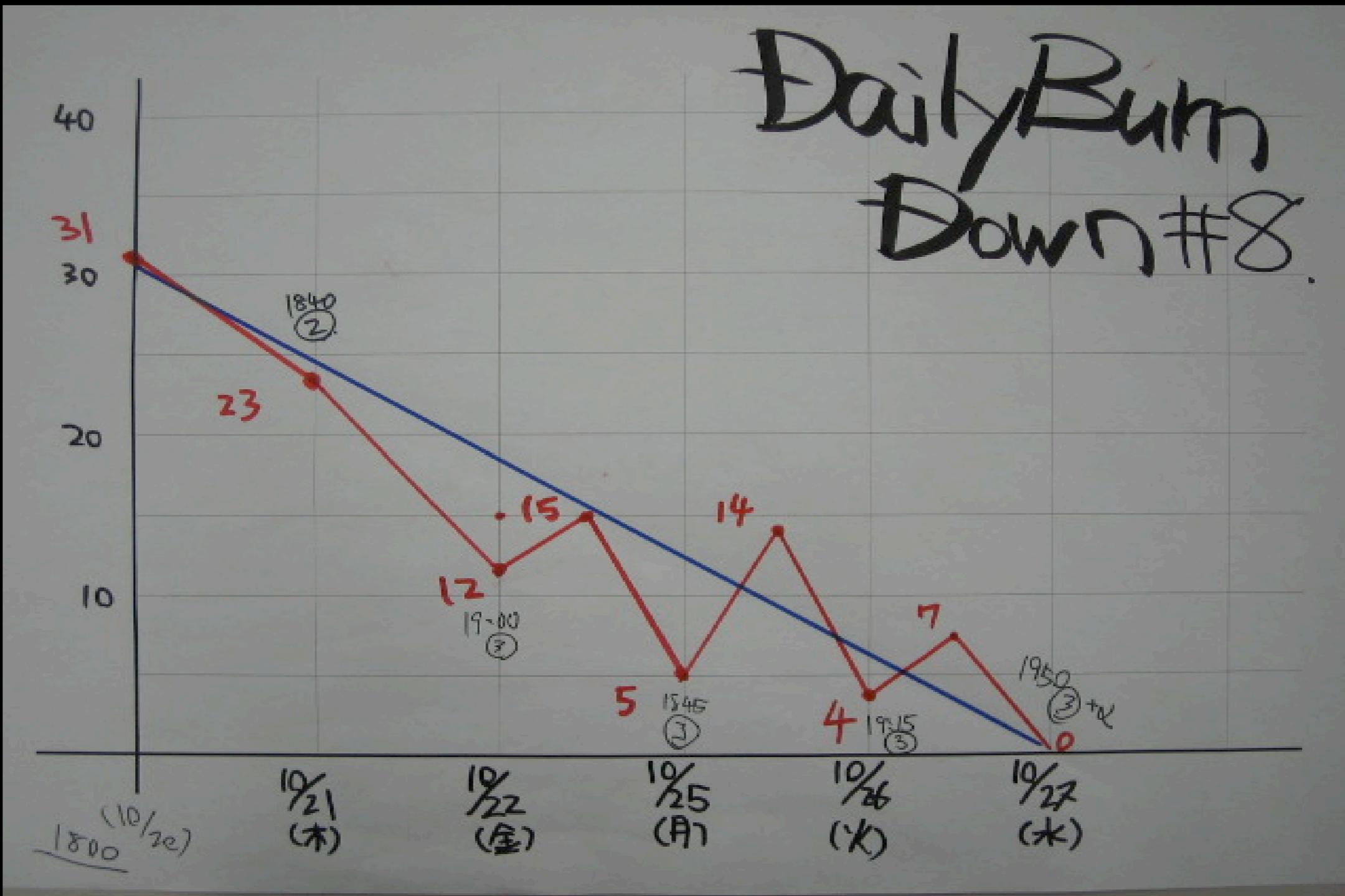
# イテレーション#6



# イテレーション#7

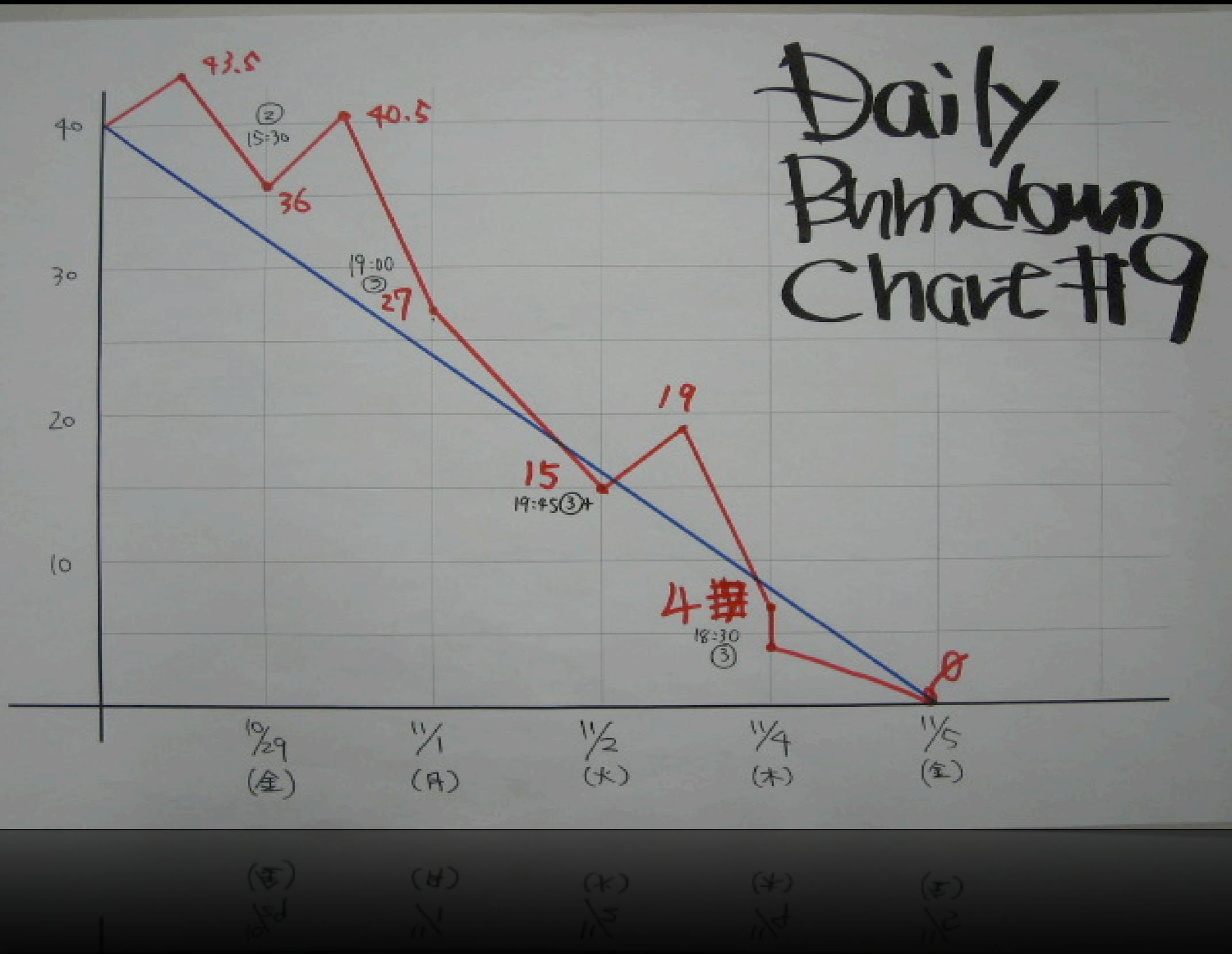


# イテレーション#8

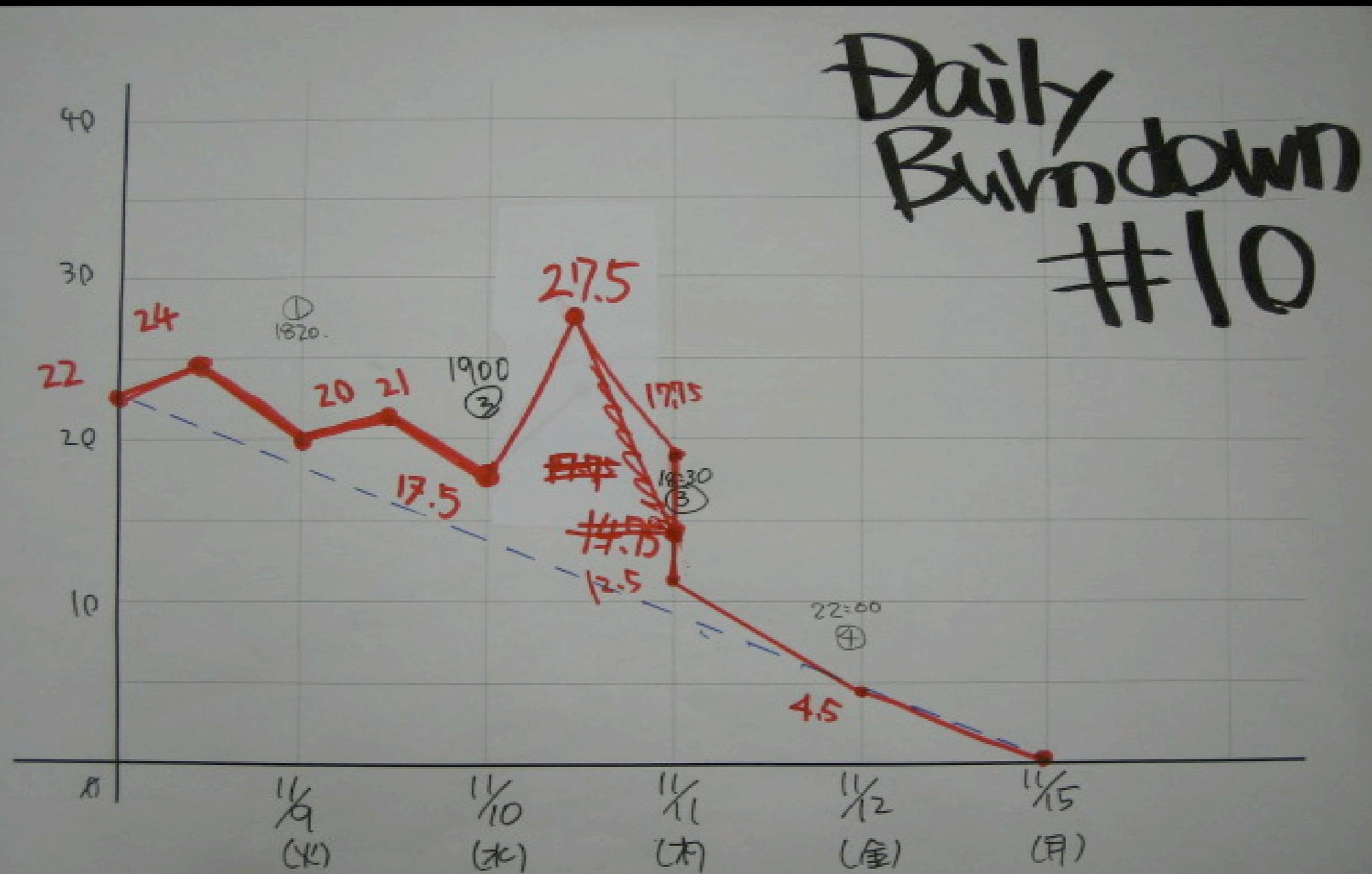


1200 (10/20) 9/26 9/26 9/26 9/26 9/26

# イテレーション#9



# イテレーション#10



# イテレーション#11

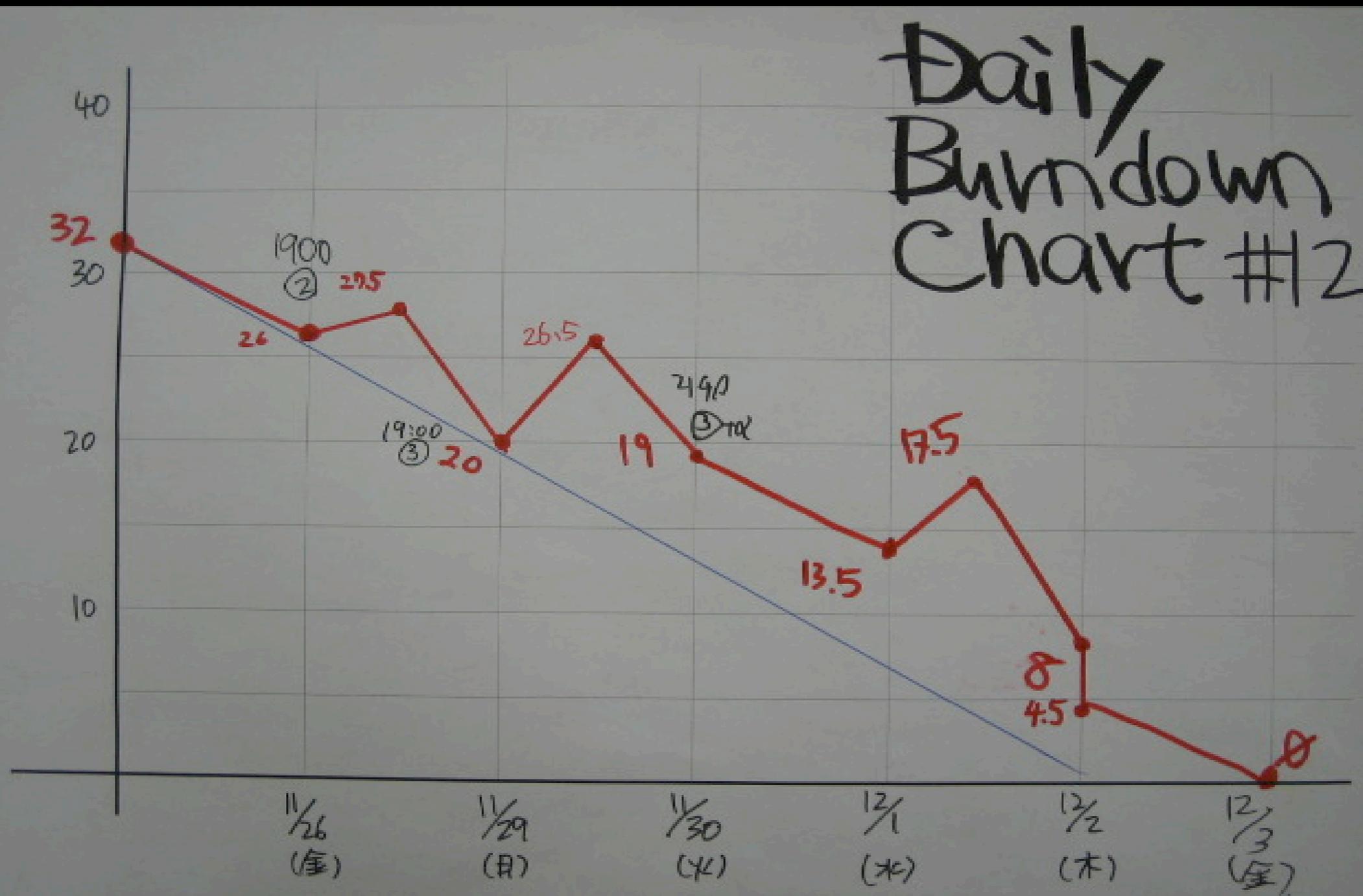


EXTEND

(\*) (\*\*) (\*\*) (B) (C) (D) (E)

17 18 19 22 24 25

# イテレーション#12



11/26 (金)  
11/27 (土)  
11/28 (日)  
11/29 (月)  
11/30 (火)  
12/1 (水)  
12/2 (木)  
12/3 (金)

# Lessons We Learned

- アジャイル進捗**追跡**マニフェスト
- 「**INVEST**」なストーリー
- 「**SMART**」なタスク分割

# アジャイル進捗追跡マニフェスト

我々は自ら進捗追跡を行い、他人の進捗追跡を手助けすることで、進捗追跡のより優れた方法を模索している。

この作業によって、我々は以下のことを重視するようになった。

- ・ 達成済作業量の追跡よりも、**残作業量の追跡**
- ・ ストーリーの達成よりも、**タイムボックスの遵守**
- ・ 厳密な精度よりも、**必要十分な精度**
- ・ 美しいレポートツールよりも、**摸造紙と水性ペン**

つまり、左側にも価値はあるが、  
右側の項目により多くの価値を見出している。

**INVEST**

**&**

**SMART**

# Stories should be...

- **I** ndependent (独立していて)
- **N**egotiable (対話を引き出す)
- **V**aluable (ユーザ価値を提供する)
- **E**stimatable (見積可能で)
- **S**mall (小さい)
- **T**estable (テスト可能な)

# Stories should be...

- **I** ndependent (独立していて)
- **N**egotiable (対話を引き出す)
- **V**aluable (ユーザ価値を提供する)
- **E**stimatable (見積可能で)
- **S**mall (小さい)
- **T**estable (テスト可能な)

# Tasks should be...

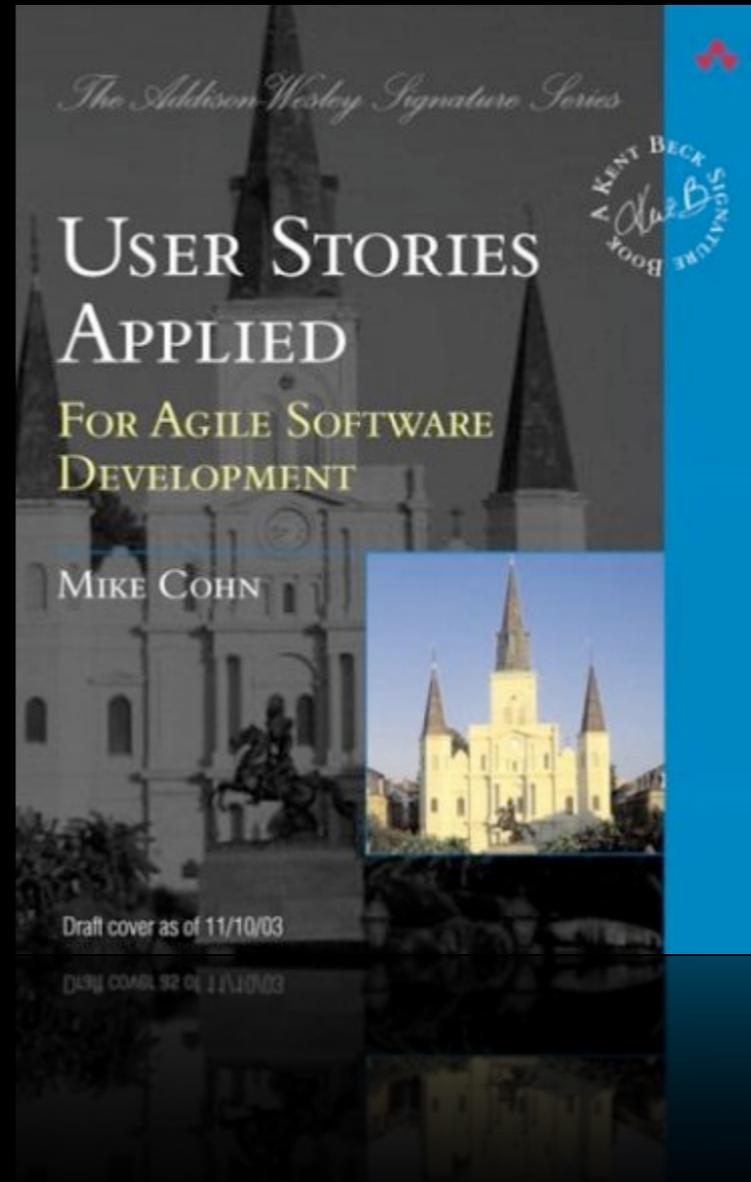
- **S pecific** (はっきりした)
- **M easurable** (大きさを持つ)
- **A chievable** (終了条件が明確で)
- **R elevant** (ストーリーに結びついた)
- **T ime-boxed** (期限のある)

# Tasks should be...

- **S** pecific (はっきりした)
- **M** easurable (大きさを持つ)
- **A** chievable (終了条件が明確で)
- **R** elevant (ストーリーに結びついた)
- **T** ime-boxed (期限のある)

# 参考文献たち

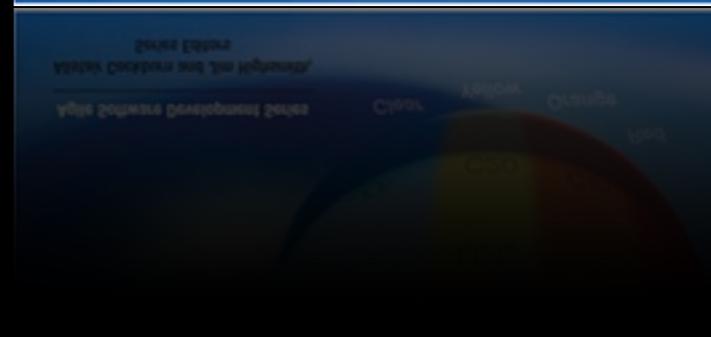
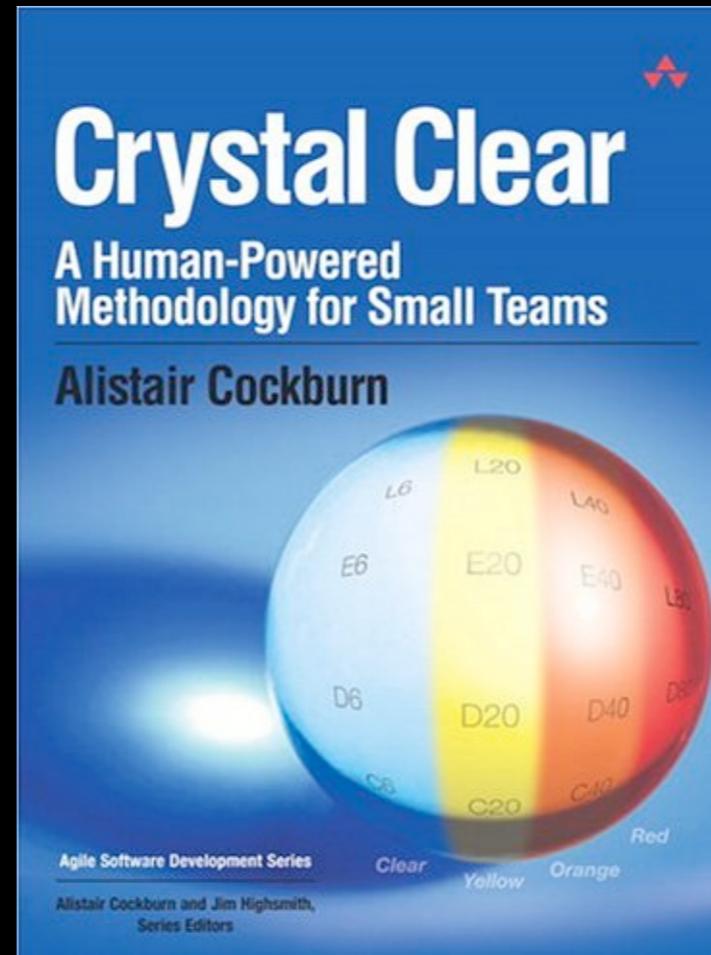
バーンダウン愛好家必携!!!



INVEST & SMARTの話も本書

# 参考文献たち (Cont'd)

バーンダウンチャートの記述が詳しい



# 参考文献たち (Cont'd)



# And Now for Something Completely Defferent.



“それではお話変わって”

XFDs:Installed

e**X**trême

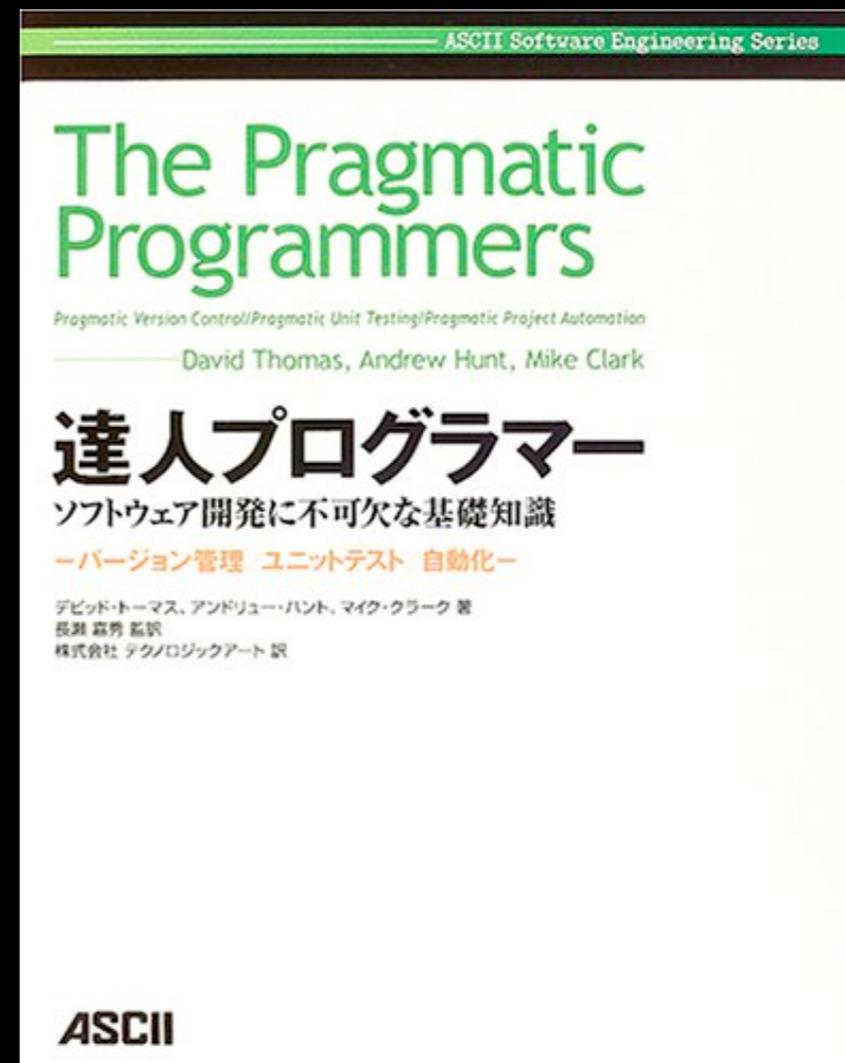
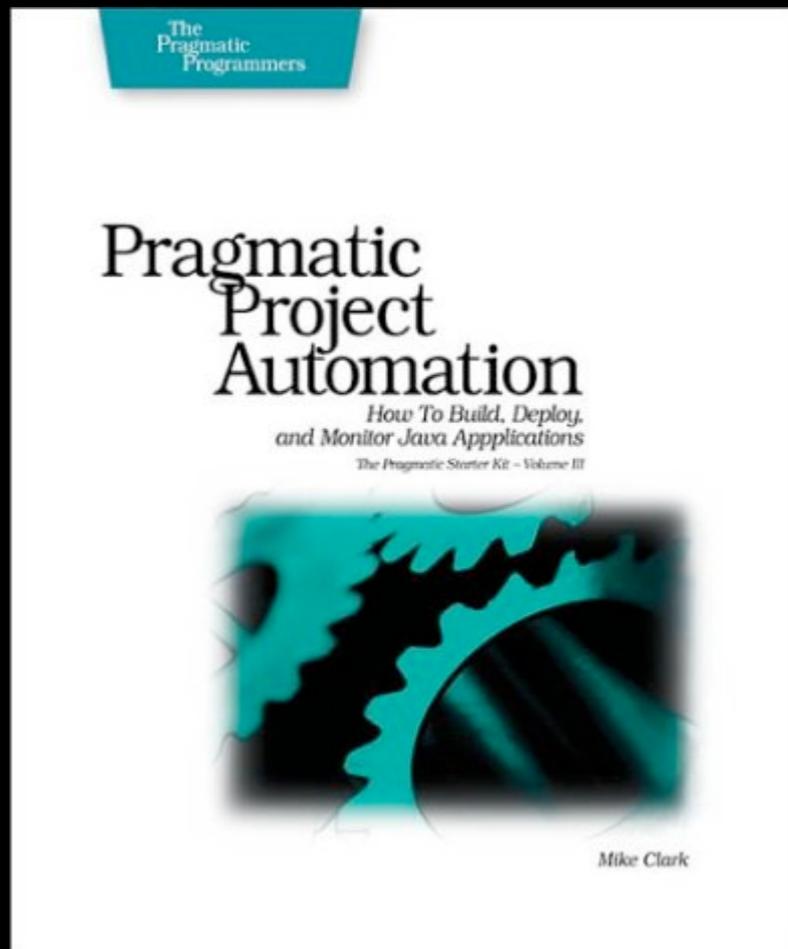
**F**eedback

**D**evices (XFDs)

の導入



# 元ネタ



<http://www.pragmaticautomation.com/cgi-bin/pragauto.cgi/Monitor/Devices/BubbleBubbleBuildsInTrouble.rdoc>

# 或る日の会話

**私:** 「XFDsが面白そうなんですけど、  
X10とかいう無線デバイスを使っ  
ているみたいなんです。

X10って日本だと入手しづら  
いっ  
ぽいんですよー」

# 或る日の会話 (Cont'd)

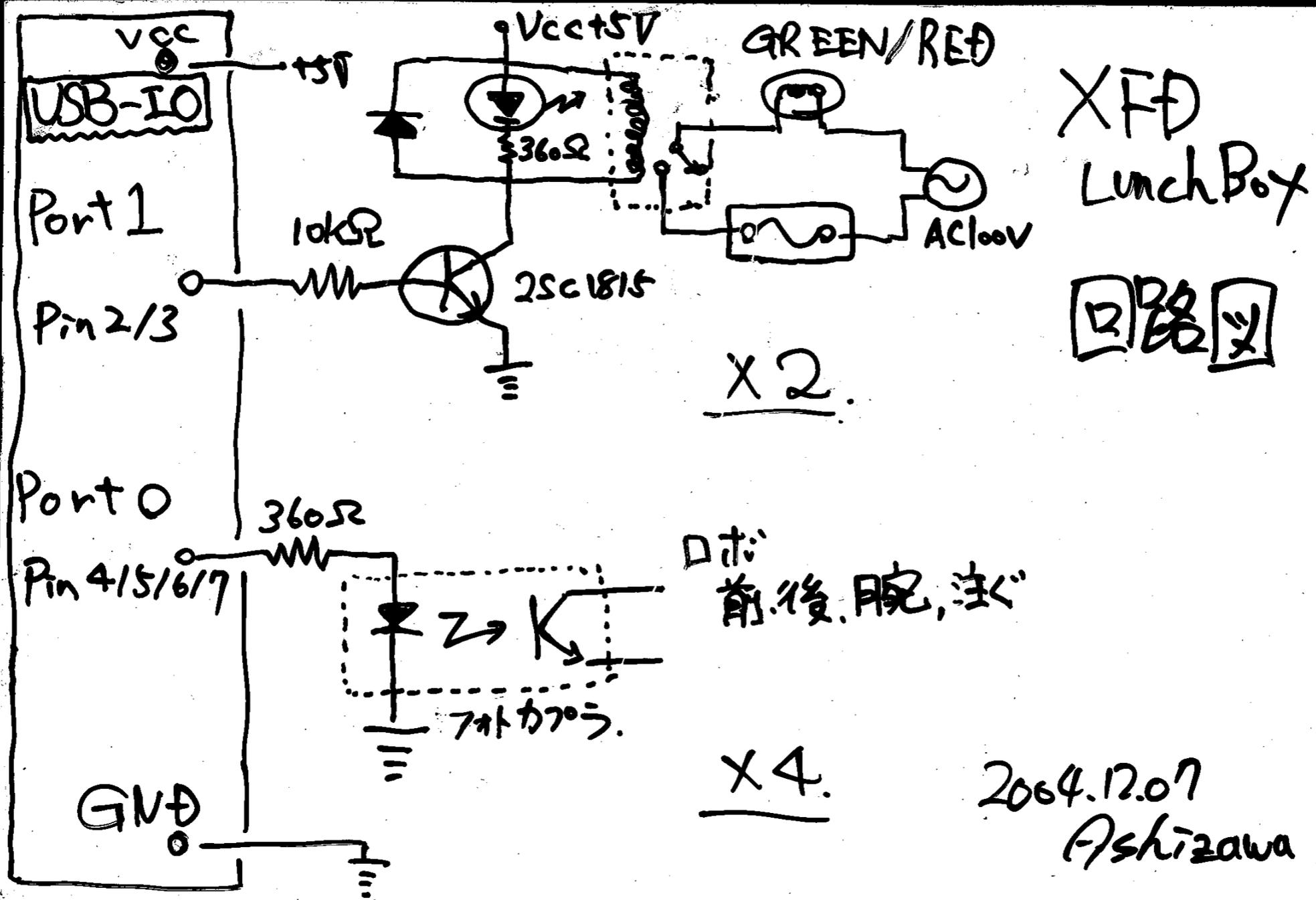
芦沢さん:

「有線でもよければ、USB-IOを使って電子工作をちょっとやれば、ランプぐらいは私にもできると思いますよー。やりましょうか、  
っていうかやります」

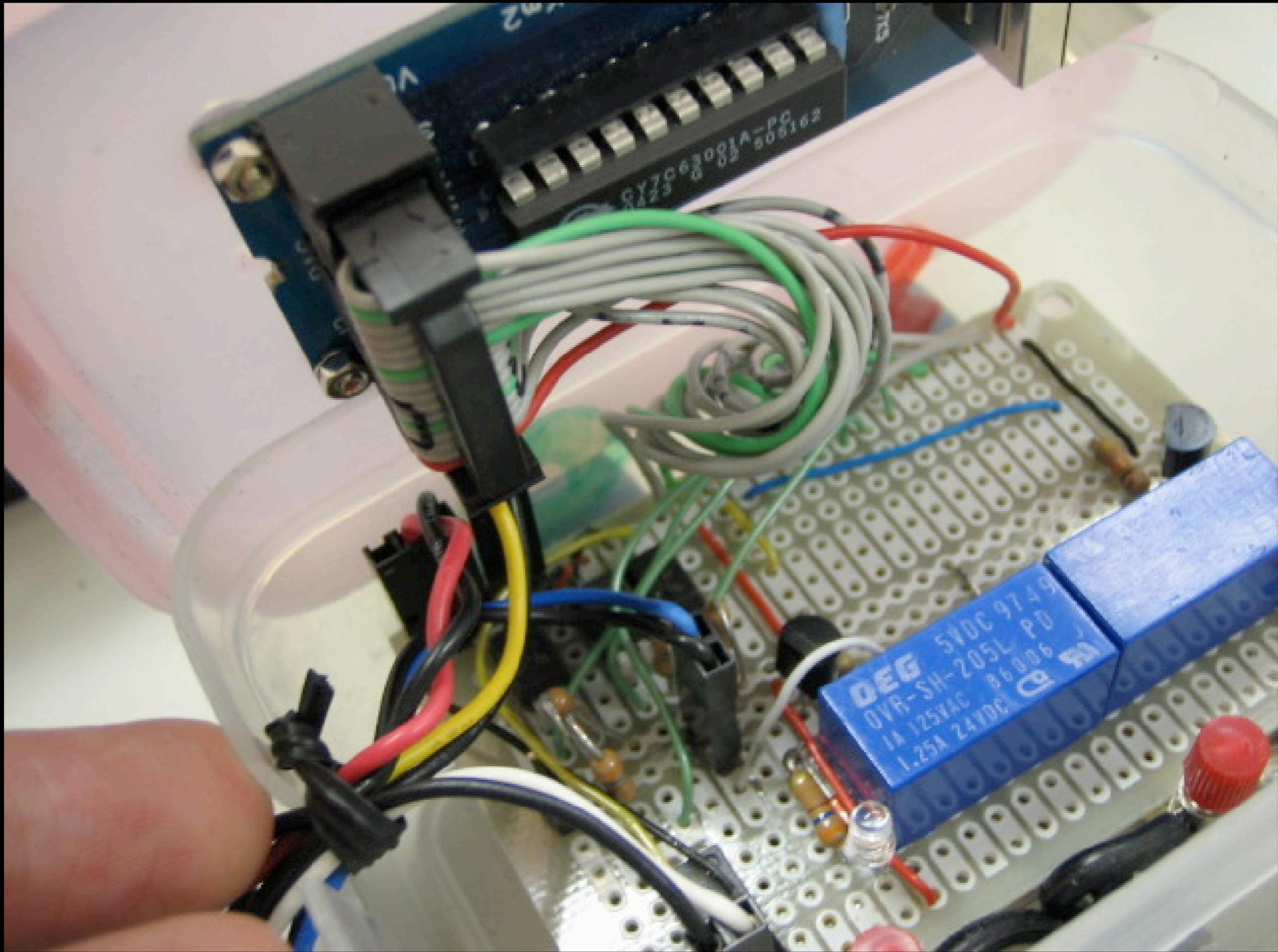
**XFD**

**LunchBox**

敬告同志

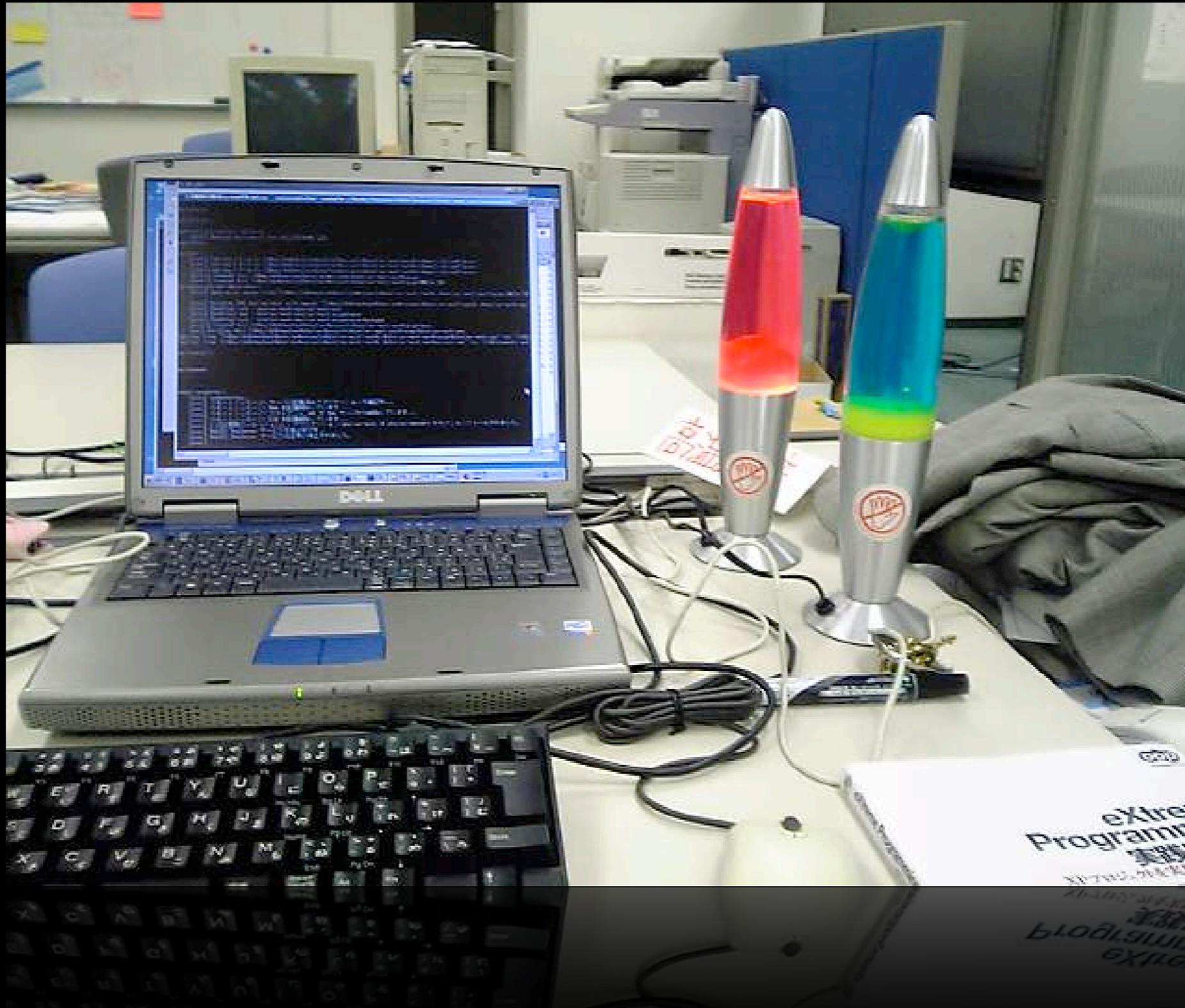


美 装

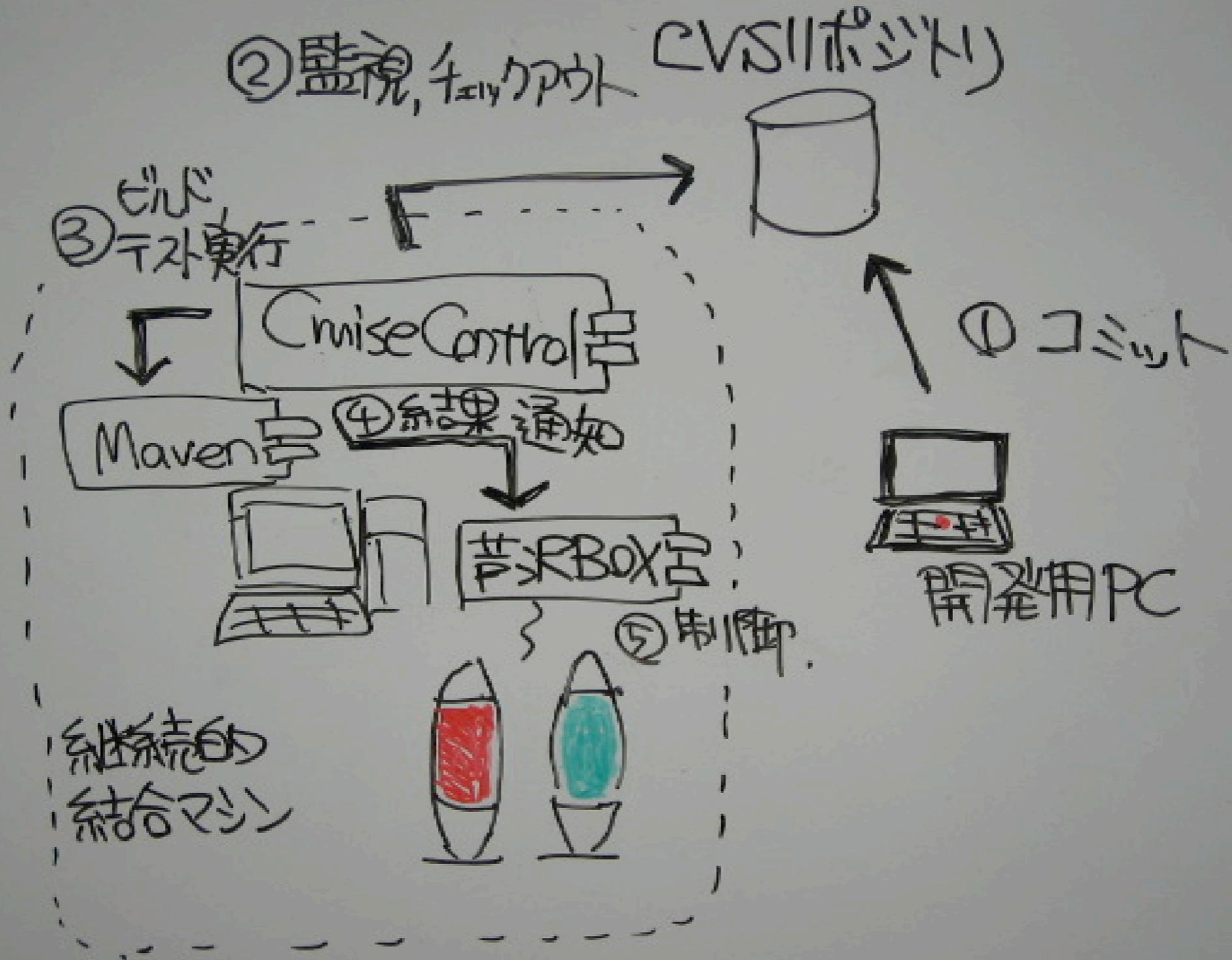


できました。

# LavaLamp XFD



# XFDの構成と実行環境



# XFDの費用

- PCと接続するためのUSB-IO  
…… 1,500円
- XFD LanchBoxのパーツ代  
…… 2,571円
- 赤と緑のLava Motion Lamp  
…… 3,780円
- 過ちにすぐに気づける安心感  
…… Priceless

**過**ちにすぐに

気づける安心感

… **Priceless**

告 行

advertisement

**オブジェクト倶楽部**

**クリスマスイベント**

**2006**

**2006/12/20 (水)**

**芦沢さん講師の**

**XFD教室開催**

(教材費として実費をいただきます)

**Don't miss it!**

ご清聴

ありがとうございます

ございました